

北広島市保健福祉計画検討委員会  
第4回 障がい福祉部会

日 時：平成29年10月10日（火） 午後6時30分～午後7時20分

場 所：北広島市役所 1階 多目的室4

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：板垣委員（部会長）  
加藤委員（職務代理者）  
奥田委員  
若狭委員  
斉藤委員  
森委員  
近藤委員

欠席者：中村委員

◇事務局

奥山福祉課長  
柄澤高齢者・障がい者相談担当参事  
川又福祉課主査  
棚田福祉課主査  
玉手こども発達支援センター主査  
吉崎福祉課主任

◇傍聴者：なし

## 《議事概要》

### 1 開会

### 2 協議事項

事務局：北広島市障がい支援計画【平成30年度～平成32年度】策定に係る基本的事項（案）について、資料をもとに説明。

委員：資料3ページのイの「利用しやすい福祉サービスの提供」について、市で配布するポスターなどに仮名を振ってはどうか。文字障がいの方で漢字が読めない人がいると思うので、今まで仮名が振ってあるというイメージはないが、サービスを増やすであれば仮名を振ってほしい。

あと、ちょっとこれとはずれる話だが、スポーツ大会など、障がい者スポーツと分けて行っているが、別々に行うことによってコミュニケーションの機会もなくなるし、知人の方から同じスポーツをやっているかも知り合う機会がないので、健常者の人の大会で障がい者部門というものをつくるなど、同じ日に同じ場所で開催できれば、手伝いが足りないというのもすごい大きな悩みと聞いていたので、少しずつ同じ日に合同開催されたらよいと希望している。

事務局：資料4ページのエに、「わかりやすい情報提供を推進します」とし、新たに施策として目標を設定しているところ。現在も、福祉に関するガイドブックなどにルビ振っている部分があるが、さらにわかりやすい情報提供に努めていきたい。

スポーツ大会については、この場でできると話はできないが、内部で協議し、一緒にできる方策がないか検討したい。

委員：資料6ページからの目標値について、計算過程や未達成率などのパーセンテージの記載もあり若干わかりづらいかなど。最終的に計画書ではもう少しわかりやすくしてはどうか。

事務局：現計画でも目標値のみの記載となっており、次期計画でも同様としたい。

委員：障がい当事者にとっては自分が差別されているのではないかと意識していること。基本メッセージでは「分け隔てられることなく」という部分が差別に関するところかと思うが、障害者差別解消法が施行された時期なので、権利擁護の部分が大事だ。

部会長：次期計画策定に係る基本的事項（案）についてはよろしいか。

（異議なし、承認）

### 3 その他

事務局：今後のスケジュールについて説明。

次期計画策定に係る基本的事項を基礎とし、今日の意見を踏まえ計画素案の作成に着手していくこととし、11月中に複数回部会を開催したい。

（異議なし、承認）

### 5 閉会